

平成29年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会 祝辞

平成29年7月19日(水)

JAにしうわ本店 5階スターホール

平成29年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会の開催を心からお喜び申し上げます。皆様方には、日頃から本県教育行政の推進に格別の御尽力をいただいております、厚くお礼申し上げます。

また、後ほど、永年にわたり教育の振興に精励された御功績により表彰を受けられます皆様方には、その御栄誉を心からお称え申し上げますとともに、今後とも本県教育の発展に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、ご案内のとおり、平成27年度の教育委員会の制度改革によりまして、本県でも多くの市町が新制度による教育長に移行されますとともに、教育振興に関する「大綱」を作成いただいております、また、市長、町長などの自治体の長と教育委員会の意見交換の場である「総合教育会議」につきましても、県内すべての市町で開催済みと伺っております。皆様方の御尽力により新制度が円滑に運営されていることにつきまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、最近の動きといたしましては、次期学習指導要領が示され、特に、小学校における英語の教科化は大きな注目を集めているところでありますが、その他にも、主体的・対話的な深い学び、いわゆるアクティブラーニングに向けた授業改善、地域と学校の連携による社会に開かれた教育課程などといった、新たな方向性が打ち出されております。

新しい指導要領では、児童生徒の育成を目指す資質・能力を、1つ目として、生きて働く「知識・技能」の習得、2つ目として、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、3つ目として、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養、の3つの柱に整理しております。また、学校レベルにおきましては、児童生徒が「何ができるようになるか」を意識したうえで、「何を学ぶか」、また「どのように学ぶか」を組み立てていくことが重要とされております。

県教育委員会といたしましては、国の動きを注視しながら、市町教育委員会との連携を密にし、子どもたちによりよい教育環境を与えられるよう努めますとともに、教員の長時間労働や部活動指導体制といった職場環境の改善にも努めて参りたいと考えておりますので、各地域におかれましても、様々な課題解決に向けて取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

さて、64年ぶりに、初の単独開催となります「愛顔つなぐえひめ国体」と、初めてとなります「えひめ大会」まで、いよいよ2か月余りとなりました。各地域や学校で

それぞれ工夫をこらして、子どもたちが参加できる企画を御用意していただいていると伺っておりますが、国体は、参加する選手だけでなく、応援やおもてなしをする楽しさもありますので、是非とも、各市町の多くの児童生徒さんに、ボランティアや運営補助、応援などに多数参加いただき、全国から訪れる選手や観覧者等との活発な交流やおもてなしを行っていただきますようお願いいたします。各地域での様々な経験が愛媛の子どもたちの心に刻まれ、それぞれの未来につながっていくような大会になることを願っております。

また、現在本県では、「えひめから世界へ」を合言葉に、ジュニアアスリートの育成を行っておりますが、ジュニアアスリートがトップアスリートに必要な能力を身につければ、えひめ国体のみならず、3年後の東京オリンピックにもつながっていくのではないかと、大いに期待しておりますので、引き続き、皆様の御協力、お力添えをお願いいたします。

本日の総会では、県教育委員会にもお時間をいただき、豊富な御経験をお持ちの、大正大学の 浦崎 太郎 教授を講師としてお迎えして、御講演をいただくこととしておりますが、今後とも、様々な機会を通じまして、「チーム愛媛」として、皆様と一緒に本県教育の振興に努めてまいりたいと考えておりますので、県の取組に御理解、御協力を賜りますとともに、率直な御意見や御提案をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、愛媛県市町教育委員会連合会の益々の御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。